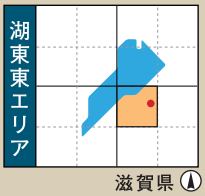
天然記念物
県指定

西明寺（さいみょうじ）のフダンザクラ

甲良町池寺　昭和49年3月11日指定



紅葉の名所として名高い西明寺に、秋から冬に咲く不思議な桜があります。フダンザクラ（不断桜）です。紅葉の赤を、雪の白を背景に咲く可憐な花は、西明寺の長い歴史と相まって、時が止まったかのような錯覚を覚えさせます。



11月、満開のフダンザクラ

桜について

桜はバラ科の植物で、リンゴやウメ、モモなどと同じ仲間のサクラ属に属する落葉樹です。奈良時代から栽培されていますが、広く一般の人たちに親しまれるようになったのは、江戸時代からのことで、歌舞伎、浮世絵など、近世の芸術作品に広く取り入れられています。

サクラには大変多くの品種があり、変種、雑種、交配種を含めると200～300種もあるといわれています。日本の国花として、日本に最も多くの種類がありますが、最近では世界各地に移植され、世界中の人に愛される花となっています。



雪がちらつく1月に咲くフダンザクラ

フダンザクラ(不断桜)

桜は普通、春に開花しますが、少数ながら花の一部が、秋から開花を始める種類があります。フユザクラ、ジュウガツザクラといった種類です。個体により花の咲く時期や開花量に差があるようですが、秋から冬にかけて全体の1/3が、春に残りが咲くものが多いようです。

西明寺のフダンザクラは、フユザクラの1品種で、滋賀県指定天然記念物に指定された樹齢約250年の古木と、これを親木とした若木があります。花びらは白色に近く、ソメイヨシノなどに比べると小さめです。例年9月上旬から咲き始め、11月の紅葉の季節に開花のピークとなり、その後、春まで咲き続けます。



西明寺の参道

醒井の不断ザクラ

米原町醒ヶ井の加茂神社にもフダンザクラの古木があり、昭和５年に「醒井の不断ザクラ」の名称で国の天然記念物に指定されました。しかし、その後、主木が枯れてしまったため、昭和48年に指定解除されています。現在、枯れた木から分かれた若木が育っています。かつて、中山道の名物として名を馳せた先代の桜に負けない木となるよう、大切に育てたいものです。



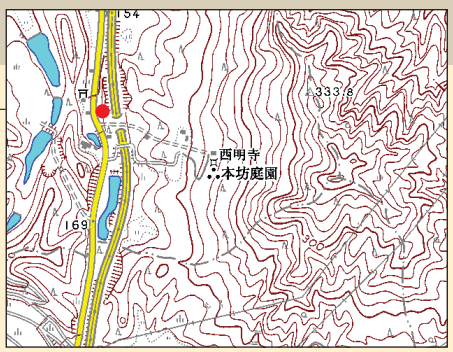
冬晴のフダンザクラ

関連する文化財

揖斐二度ザクラ (岐阜県大野町)	一重の花と、八重の花および二段咲きの花を咲かせる性質がある。まず一重が咲き、続いて八重が咲く。春、秋咲く二度桜とは異なる
名勝西明寺本坊庭園	学習シートNo.084

もっと深く知りたい

甲良町教育委員会　☎0749-38-3315　犬上郡甲良町大字在士353-1



西明寺のフダンザクラへのアクセス　JR琵琶湖線　彦根駅下車
名神高速道路　彦根インター、または八日市インター

【参考文献】〔滋賀の名木誌〕滋賀県

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月